

▼「苦惱」하는 아
시아에 있
어서의基
督者の行
動—이란

川崎教会 宋富子

日本人であるのに、あたかも日本人の様になりすまし、
 日本人の様に日本名を使っ
 たり前の様に日本名を使っ
 ていた私に原因はあると反
 省しました。また私は友達
 に話しました。私の知って
 いる限りの知識で歴史や過
 去、又現在私達が置かれて
 いる立場を。友達は言いま
 した。「私達は日本の高等
 教育を受けても、歴史的な
 事実は何も教えてもらえ
 ず、ただ、ばく然と朝鮮人、韓
 国人に対し偏見を持ってい
 ます」又「やはり私が外国
 に住む場合、ジョンやメア
 リーなどの名前は使えない
 わね」と言い納得してくれ
 ました。また私は同胞に話
 します。大半の人は言いま
 す。差別、偏見をされて
 口惜しいが、今のこの日本
 社会の流れに逆らって生き
 ても仕方が無いのではない
 のか、また我々第三国人が
 差別、偏見されて当たり前で
 日本人と同等に認めて貰う
 と言うことは無理な事では
 ないのかと……私は今、声
 を大にして言いたいのです。
 私達がそんな考えて生き、
 生活する限り万が、朝鮮
 人と日本人の立場が反対に
 なった場合、また私たちは
 絶対にくり返えしてはなら
 ない罪を、歴史を、平気で
 犯し、直接手を加えなくとも
 人間を死に追いやるので
 はないでしょうか。私はそ
 んな人間の心が一番恐ろし
 いのです。人間の生き方を
 誰もが考えるならば、正直
 に真実に生きたいと思うの
 です。まず我々民族が日本
 に永住を希望し、日本人に
 帰化しないのならば、堂々
 と本名を使い、子供にも本
 名を使わせ、民族の歴史を
 勉強し、自主性と信念のあ
 る子供に育て、どこへ出て
 も朝鮮人を隠さず堂々と自
 分を名乗れる子供、勉強の
 出来る出来ないを問わずそ
 んな子供に育てるのは親の
 責任と家庭の環境にあると
 私は思います。親がフラフ
 ラと自主性のない事を言い
 正しい事には目をつぶり虚
 栄と打算の生活を経て行
 く限り私をも含めて人間が
 救われる日は絶対来ないで
 しょう。私は歴史を知るま
 では、自分が朝鮮民族に生
 まれつつある事をいつも情無
 きに思っています。今私は、
 日本人を憎むよりもまず自分
 たち民族を反省し過ぎた歴
 史の事実は事実として認め
 誰かが正しく知らなければい
 けないのではないかと考
 えるのです。私は日本の教
 育しか受けていないから知
 らないと言うより、人間気
 がついた時点で素直に自分
 を反省し、学んだ方が自分
 の為にも子供の親としても
 又一人の社会人としても当
 り前の事だと思います。私
 は教会の先生と信徒の生活
 によって初めて人間の生き
 方を考えるようになり、聖
 書の教える人間の生き方に
 この汚れた私ですが一歩で
 も近づく事が出来ればと祈
 ってやまない毎日です。今
 の私は金銭ではなく精神的
 に充実しています。たとえ
 我々は外国に住もうとも又
 差別が冷酷にある日本社会
 の中で生きようと、日
 も早く失なわれた歴史、文
 化を知り、名前、言葉、字
 はたとえ遅くとも気づいた
 時点で一人一人が取り戻さ
 なければいけないと思いま

「国家はあらゆる権威の総体である」という考えをもったキリスト者が多い。ロマ書十三章のパウロの言葉がこういう人たちの有力な根拠であるとおもわれる。すべての人は、上に立つ権威に従うべきである。なぜなら神によらない権威はなく、おおよそ存在している権威は、すべて神によって立てられたものだからである。」

ところで注目すべきことに、国家についてパウロと全く相対立する見解が同じ新約聖書にあるのである。ヨハネ黙示録十三章にローマ帝国は「深淵からはいかがってきた獣」としてえがかれているのである。パウロとヨハネの矛盾は根本的なものではない。それは次のような説明で解決がつくのではないかと思う。すな

—一つのユートピア—

横浜教会牧師 金 君 植

その權力を乱用する国家權力である、この權力乱用についてパウロは全く無知ではないのである。彼は當時既にはじまっていた政府によるキリスト者迫害の証人であつたのである。さらに彼自身が、權力の乱用を体験した者のひとりであることも忘れてなるまい。使徒行伝十六章によれば、

ウロはピリポでロマ官憲から、むちで打たれている。彼はこのむち打ちに泣き寝入りするようなことはしなかつた。長官に抗議をして遂には長官をしてむち打ちの非を謝罪せしめている事

非政治的教会

——一つのユートピア——

横浜教会牧師 金 君 植

力な手がかりを提供するものである。即ち、国家が神によって立てられているということは、国家を批判してはならないとか、権力の乱用によってうけた不正もだまって甘受すべきであることを意味するものではない。

ここで私たちは所謂「国家嫌悪」とは何のかかりもないことをはっきりさせておかねばならない。もし国家というものが存在しなければ、私たちの住む世界が混乱におちいることはいうまでもない。犯罪映画の場面が日常の現実になる。このカオスを阻止することが国家のつとめである。国家には社会の秩序と個人の安全を保障する義務がある。この義務を忠実に履行する国家が神によって立てられている国家である。私たちは、国家がよき秩序の監視人としての務めを果たしているか、それとも、強盗の一味（アウグステイン）になりさがってしまったのかどうか、判別できるきびしい批判の目をもっている。

のものではないことはいうまでもない。国家が一定の世界観や宗教を拘束するとき、国家は自己の限界をふみこえることになる。宗教思想、信条、人種等に対して国家権力は中立でなければならぬ。個人の権利と社会の安全及び秩序に関するかぎり、キリスト者であれ、非キリスト者であれ、ニヒリストであれ、有神論者であれ、有色人種であれ白人種であれ、国家権力から如何なる差別も優遇も与けることがあってはならない。

今日の民主主義世界において色々な決定が政党や団体等によつてなされるのが普通である。要は、これらの政党や団体の決定や行動が聖書の国家観にふさわしいものであり得るために、私たちキリスト者は一体何をなし得るかをはっきり認識することである。権力の正しい運用・乱用に対してキリスト者は傍観したり、無関心をよそうことはできない。キリスト者は、国家権力が特定のグループの利

に目を醒ましていなければならぬ。教会は常に時の権力者と同衾してきた」というF・ヘルの非難の言葉は貴重である。

教会は全く政治とかかわりのない教会であることはできない。なぜなら一定の問題に対して沈黙する教会は決して「非政治的」に行動しているのではない。沈黙することによって、教会は逆に暗黙の肯定を与えているのである。人種差別がおこなわれている国で教会が何もいわないなら、教会は人種差別を支持しているとおもわれても仕方ない。

第二次大戦中、ナチによるユダヤ人殺害に対して当時のドイツ教会が沈黙した時同じ非難をうけたのである。

教会自身がたとえ本意であっても、政治から遠く立つことはできない。大切なことは、如何に教会が自己の政治的委託を正しく認識するか、と云う事である

中世では迫害されているものに安全な避難所があった。それは教会の祭壇であった。これは今日のキリスト者に

한 온
競走 전을向

어는(을)하나 目標를가
지고 있지만, 그목표를
향해 牧會者와 信徒가
한데뭉쳐 철저한 献身
의努力을 다하고있는敎
會라는 印象을 갖게된
다. 이敎회의 今年표어
는 「온전하라」는 말
씀에 中心을 둔다. 그
리하여 信徒의 第一使
命인 伝道에 重点을두
어 敎人 100名 主日
出席 90名을 目標라고前
출령의 역사가 함께하

은(을)한
한 競走
용해 오던 敎회의 자
를 새의자로 바꾸고
11万円 이때까지 사용하
던 의자를 岡山伝道所
로 기증하기로 決定하
였다. 敎회도 쉬지않고
새로운 聖役을 계획하
며실천해 나가는가운데

고 그 생명이 영원에
이 어지는 것이다.
하나님은 그 온전하심
으로 人類를 위한 不斷
한 역사를 이룩하고 계
신 것이다. 이를 본받아
우리도 하나님께서
거주신 사명을 위해 全
心全力を 다하게 될 때
그의 온전하심을 못뵈
게 되는 것이라 생각한다.
앞으로 教会全体信徒
를 위한 信仰復興集會와
青年集會도 계획하고 있
다. 특히 기쁘게 注目할
것은 이 教會의 젊은 세
대들의 熱心하는 奉仕
이다. 青年會 李鍾國會
長을 비롯하여 約20명
의 青年들이 主日學校
와 教會聖歌隊를 돕고
있는 모습은 젊어지는
교회에 호못한 一面이
기도하다.

く思ひ人前では純粋な名を
使つた事がありません。でも
も歴史と文化を知つた今は
違います。私は胸をはって
誰の前に出ても大きな声で
言えます。少なくとも我々
民族は歴史始まつて以来ど
この国をも侵略した事はな
いのです。何とすばらしい
事ではありませんか、教養
も無く、いつも何か投げや
りな、だらしない粗暴な我
々の民族を責め、憎むより
そうならざるを得ない我々
民族には辛い悲しい、忘れ
ようとしても忘れる事の出
来ない歴史が過去にも現在
にもあるのです。私は歴史
を学ぶうち、文化を愛くし
むようになりました。ある
時は日本人を心から憎いと
思いました。でも日本人の
中でも、他国を責めるのは
よくないと立ち上がった人
もいる事を知り、又同じ民

祝
結
婚

校を卒業し、何も知らない
同胞が多勢いる事と思いま
す。聖書研究会では四月か
ら研究会の前に歴史と国語
を教えて下さっております
皆さん一緒に学ばうではあ
りませんか。私は一人でも
多くの人と語りたく、又人
間の生き方を真剣に考えな
いと祈っています。多くの
方達と友達になりたいと思
います。下手な私の文章で
すが、私の思った事を経験
を通して真実に書きました
ここに住所を記しておきま
す。お便り下さればうれし
く思います。

(川崎市已浜町一―十五―三)

祝結婚

厳柱鮮君張君子嬢 金
榮植牧師主札 5月17日折
尾教会堂에서 舉行。

「土の器」としての考え

朴
憲
郁

毎週日曜日になると朝早く起きて、教会学校のための準備をして電車に乗って教会までいく。途中で品川駅で乗り換えるのだが、なんと多くの若い行楽客に出会うことだろう。私は少しとまどってしまう。と言うよりむしろ大変うらやましく思う。「自分も一緒にこのまま鎌倉の方へ遊びに行つてしまおうか」などと考える。その方がよほど心安息日となるだろうから。

ところで今日宗教というもののは、もはや若者たちに対して意味を持たないもの

になつてしまつたのだらうか。そして特に私たち、在日大韓基督教會に属する青年たちにとつてはどうであらうか。私たち青年のいろいろな會合での話し合いの中でもそんなことを素朴に考へてみたりする。先日、教會學校に來ている或る日本人の子供の家庭を訪問したが、そこのおばあさんが言うには「うちの子供たちは毎日曜日に教會に行くのが楽しみなんですよ」私はこれを聞いてドキツとした。私もより子供たちの方が教會に行くことをよほど楽し

いろいろと物心がつき、自己に目ざめ、社会意識が高まり、理性的に事柄を考えるようになる、キリスト教信仰における幼稚な考え方に對して批判的になったりする場合がある。しかしそんな場合とかく彼らこそ別の意味で安易な樂觀の間観によつて支えられているものである。私は批判的精神というものを大切にしなければならぬと思う。しかしそれは或る対象を批判すること以上に、対象を批判しようとする「私」という主体が一層急激に批判

いう力を内に持っているにちがいない。私たちは神の御言によって、人間のめじろきと愚かさを見るようにと突き落される。しかしまた同じその御言が私たちと教会とを死から生へと生かすであろう。

今日、人間のものの見方までが平板化している中で例えば、ドストエフスキーの文学作品などは、何か人間に深みを与えてくれるように思う。彼の考へ方は非常に深層心理学的である、とある学者はいうであろうが、いずれにせよ彼は現実

る。学生の間でいつも彼の文学作品がベストセラーであり続ける所以である。私たち教会青年は、教会での働き手が少ないのでいつも何らかの役割を与えられてしまふ。そこで、自分が機械のようにされてしまふことにうんざりする場合がある。まさに教会内における自己疎外である。しかしもう少し考え方を変えて深くとらえ直してみたらどうだろうか。私たちは所詮土の器でしかないではないか。しかし土の器であっても器

4 頁下段につづく

德化

（東京神学大学大学院在学中）